

市民意向調査、結果発表

8月に実施した市民意向調査の結果がまとまりました。この調査結果は、安曇野市総合計画に反映されます。

安曇野市では、市の目指すべき将来像と、その実現に必要な諸施策の方向性を定める「安曇野市総合計画」を平成18年度・19年度の2カ年で策定しています。

そこで計画の策定に当たり、今後のまちづくりに対する市民の皆さんの意向を広く把握することにより、市民の視点から市政の課題や今後のまちづくりに必要な施策を洗い出し、市民の皆さんの声を反映したものとす。そのため、平成18年8月に市民意向調査を実施しました。

市民の皆さんには貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。この調査結果を踏まえて市民の皆さんのご意見を反映した総合計画にしたいと考えています。

このたび市民の皆さんにご協力いただいた調査の結果がまとまりましたので、その一部を紹介いたします。

安曇野市に対する愛着度

安曇野の風景として大切にしたい風景は、「北アルプスの山岳風景」が8割を超え、「水田の風景」が半数を超える回答がありました。その安曇野の風景の価値とは、「四季の移り変わりを感ずる」が76%、「気持ち安らぐ」が72%という結果でした。

安曇野の風景を守るための規制が必要かどうかについては、全体の86%の人が「何らかの規制が必要である」と考えていることが分かりました。

安曇野市への今後の居住意向は、全体の約7割の人が「これからもずっと市内に住み続けたい」と回答。逆に転出意向のあ



調査概要

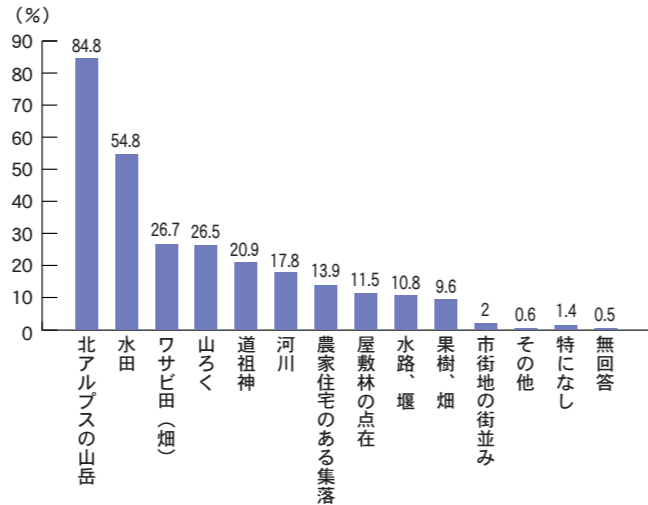
- ①調査対象 18歳以上の市民の皆さん3,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
- ②配布方法 郵送による調査票の配布・回収
- ③調査期間 平成18年8月11日～8月28日
- ④有効回答数 1,255票 (有効回収率41.8%)

合併の効果

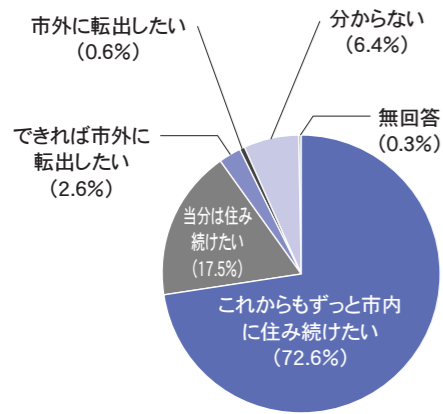
合併の効果に対する評価と期待については、合併後1年弱であることが影響してか、合併効果の達成度を評価するに至っていない市民も多く、すべての事項に関する平均で「分からない」との回答が約3割に達しました。この状況において、「行政窓口の増加、住民票発行等窓口サービスの向上」、「旧町村の文化・スポーツ施設等の有効活用や相互利用」、「町や村から市になったことによるイメージアップ」では、2割から4割程度の達成評価が得られました。

一方、今後の期待については、「公共料金など住民負担の軽減と行政サービスの向上」、「行政窓口の増加、住民票発行等窓口サービスの向上」、「道路や公共施設の効果的な整備など、広域的視点でのまちづくりの実現」の項目で7割を超える大きな期待が寄せられました。各項目の達成度と期待度について、ポイント評価を行う

安曇野の風景として、あなたが大切にしたい風景は何ですか (3つまで○)



あなたは、今後も安曇野市に住み続けたいですか (1つに○)

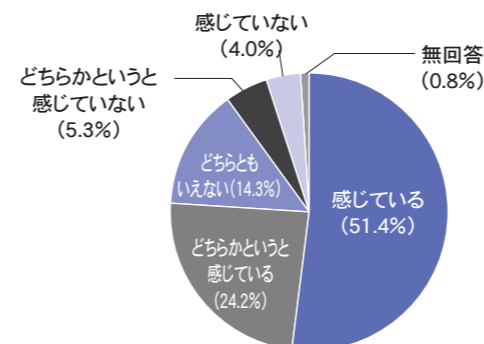


項目	今後の期待度は				
	期待している	やや期待している	やや期待していない	期待していない	分からない
財政規模拡大による施設整備やプロジェクトの実施	37.1	26.8	6.5	12.7	10.0
広域的視点でのまちづくりの実現	39.8	30.8	6.5	9.6	7.1
旧町村の文化・スポーツ施設等有効活用や相互利用	38.6	30.3	6.0	7.6	10.5
地域資源の連携による観光・交流活動の活性化	34.4	31.1	6.5	6.5	12.4
安曇野市としての一体感の醸成	38.8	26.4	7.6	10.0	10.0
行政窓口の増加、住民票発行等窓口サービスの向上	44.3	26.9	6.4	6.5	9.0
体制の充実など多様な高度な行政サービスの実現	41.5	26.0	6.6	8.0	11.5
公共料金など住民負担の軽減と行政サービスの向上	50.1	22.1	6.3	8.9	5.9
行政経費の削減や行政運営の効率化	45.0	22.2	6.1	8.1	12.4
地域イメージ向上での企業誘致、若者の定住促進	40.0	26.5	6.5	8.4	11.5
町や村から市になったことによるイメージアップ	46.1	21.8	5.1	11.7	9.7

※CS分析とは...

Customer Satisfaction分析の略称で顧客満足と訳します。民間企業がマーケティング活動の一環で採用している分析手法の一つで、本調査では民間企業を自治体に置き換え、市民を顧客とし、行政が実施する事業全般を顧客に対するサービス活動ととらえ、それに対する市民満足度を分析したものです。

あなたは、安曇野市に愛着を感じていますか (1つに○)



る人のその理由としては、「交通や買い物の不便さ」や「人間関係のわずらわしさ」、「老後への不安」が多く挙げられました。